防災学習事例紹介

（株）藤井基礎設計事務所

○○市防災学習会進行（タイムスケジュール）案

約２時間20分

No.	プログラム	担当者	時間
①	開会宣言	総合司会	1分
②	○○市防災担当者挨拶	市町村担当	3分
③	参加者紹介	総合司会	2分
④	災害について（パワーポイント資料）	市町村担当	10分
⑤	図上訓練	総合司会 テーブルマスター	85分
⑥	現場点検	テーブルマスター	30分
⑦	閉会宣言	総合司会	1分

図上演習進行予定（タイムスケジュール）案

① 図上訓練開始

② カードゲームの説明

③ カードゲームの実施

④ 図上訓練の説明

⑤ 参加者の家及び地域の確認

⑥ 土砂災害危険箇所の確認

⑦ 地域の危険箇所の確認

⑧ 防災施設等の確認

⑨ 避難場所の確認

⑩ 避難所の確認

⑪ 避難経路の確認

⑫ 検討内容の整理

⑬ 検討内容の発表

⑭ 図上訓練終了の挨拶

① 図上訓練開始
② カードゲームの説明
③ カードゲームの実施

クロスロードを利用した防災学習

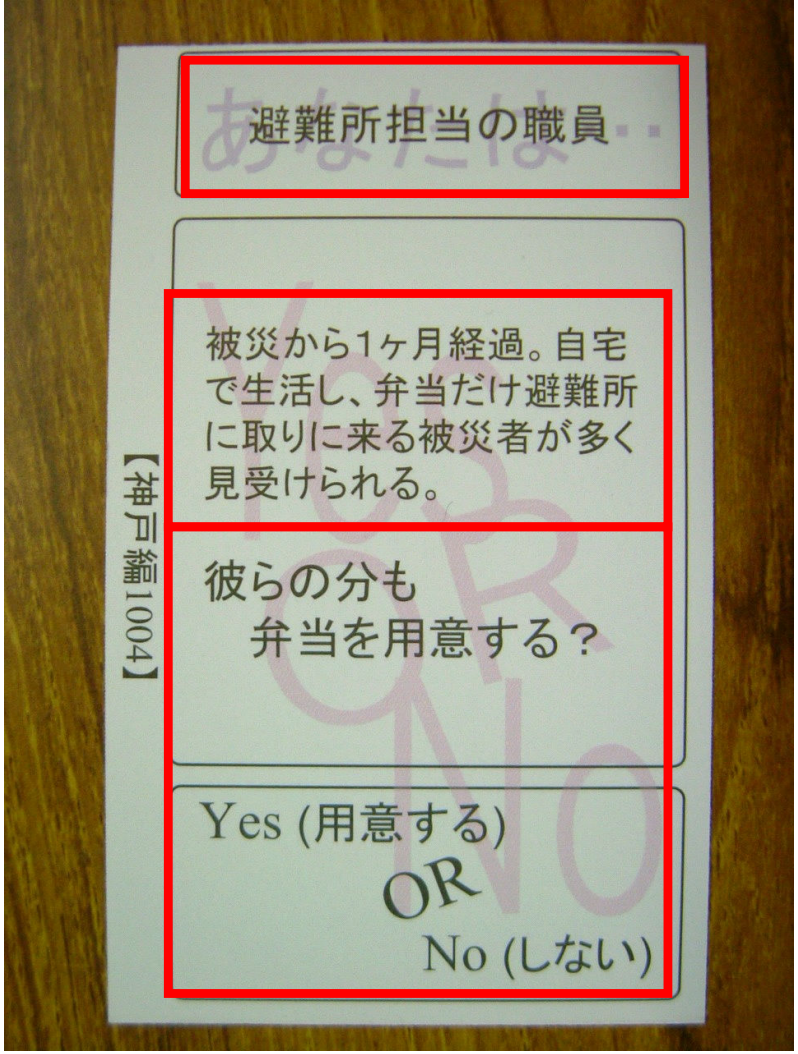
※Crossroad(クロスロード)は、文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクト（林春男研究グループ）の成果物です。（商標登録申請中）
不許複製
制作・著作：Team Crossroad　チームクロスロード（網代剛、吉川肇子、矢守克也：50音順）

どんなもの？

- 「阪神大震災の時、神戸市職員が厳しい決断を迫られた実際の事例」が質問。
- 質問に「YES」[NO]で答えを出し意見を言う。
- 勝敗はなく立場や年齢の違う人らに「岐路」に立ってもらう。

目的は？

- 難しい災害対応の局面でさまざまな判断や考え方があることを知ってもらう。
- 正解のない答えを探す頭脳と感性の訓練。
- 自分たちの命・自分たちの町は、自分たちで守るという防災の原点を体感してもらう。



あなたの住んでいるところでは、現在激しく雨が降っています。テレビ報道では、島根県下に大雨洪水警報が発令されたといっています。しかし、避難勧告等は発令されていません。

あなたはすぐに避難準備をする？

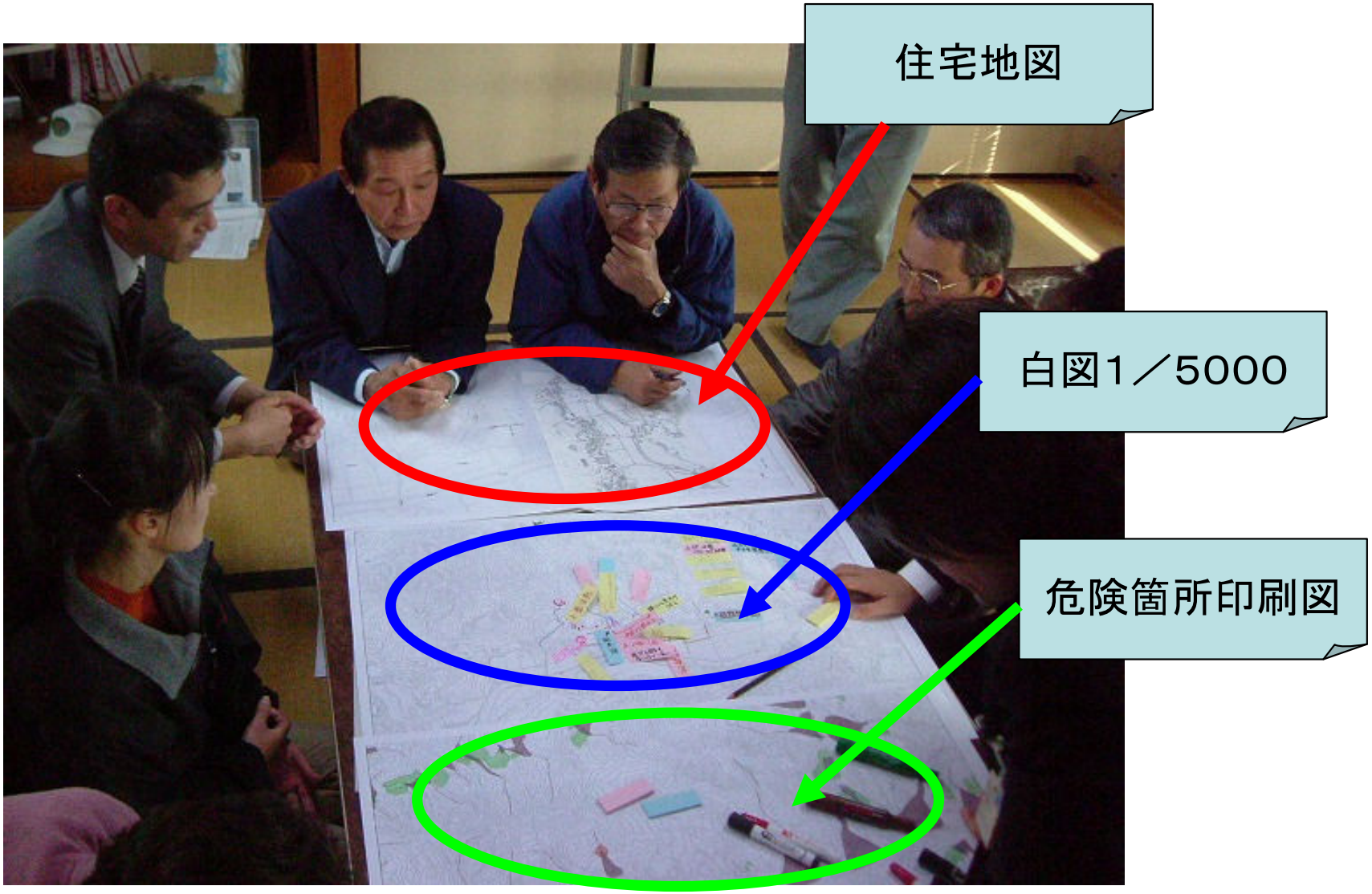
Yes or No

あなたの住んでいる地域に避難勧告が出されました。あなたは勧告に従い避難所へ避難することにしました。あなたの近所には一人暮らしのお年寄りが住んでいます。

避難するときにお年寄りに声をかける？

Yes or **No**

④ 図上訓練の説明
⑤ 参加者の家および地域の確認
⑥ 土砂災害危険箇所の確認

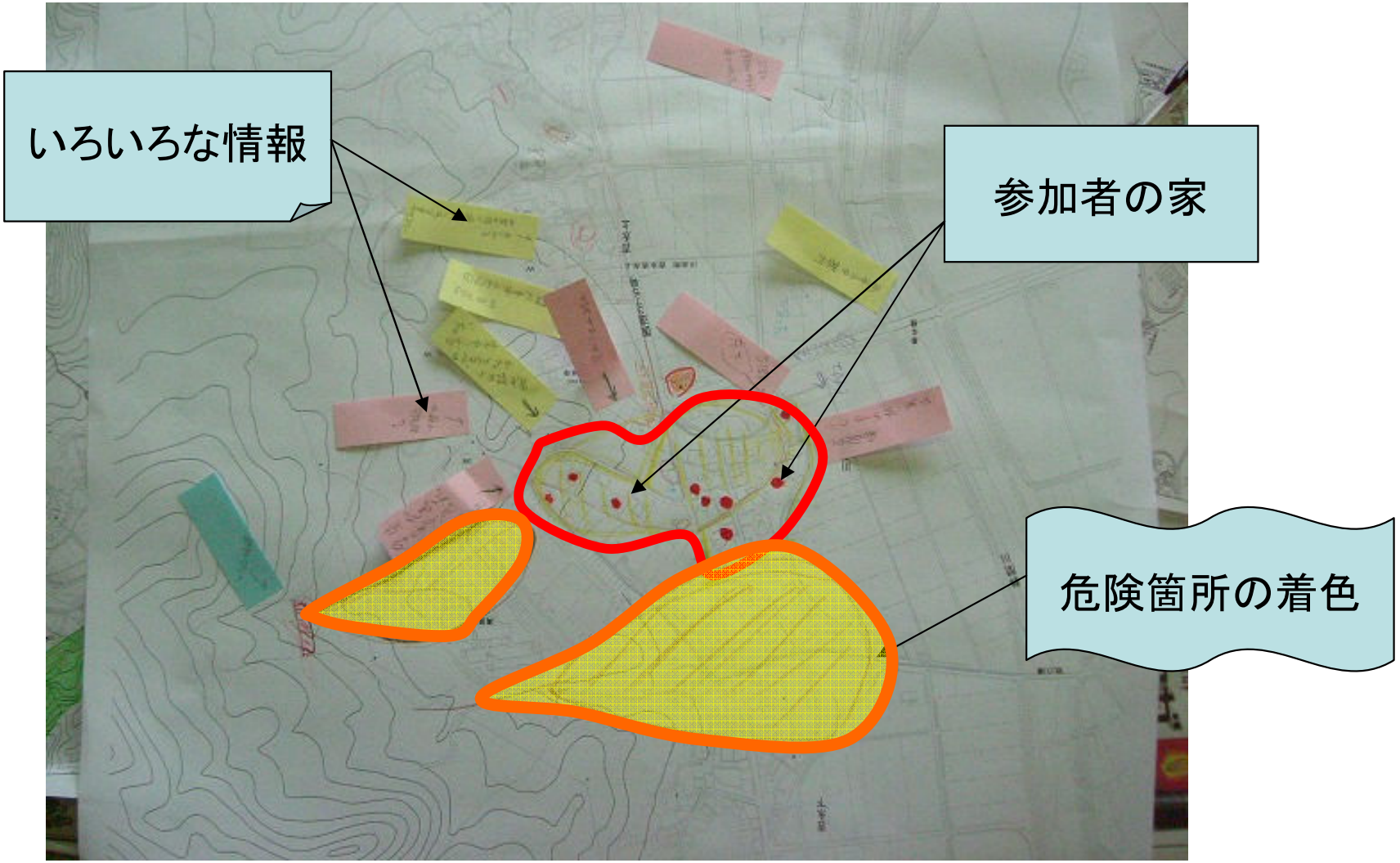


⑦ 地域の危険箇所の確認
⑧ 防災施設等の確認
⑨ 避難場所の確認
⑩ 避難所の確認

テーブルマスターが
サポートしながら進めます。

テーブルマスター

⑪ 避難経路の確認
⑫ 検討内容の整理



⑬ 検討内容の発表

テーブルマスターが
まとめを発表

⑭ 図上訓練終了の挨拶

総括・あいさつ

おわりに

- 地域の人が集まり、災害について話しあう。
  - 知識・過去の歴史が集約される
  - 意識が高くなる
  - 協力体制が生まれる
- 地域の核となる人を育てることが重要